

年度 2008 学期 前期	曜日・校時 金 3	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	総合英語 I Comprehensive English I		
対象年次 1年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等)	Tg	科目分類	外国語科目(英語)
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 藤本 ゆかり /研究室: 非常勤講師控室 /オフィスアワー: 授業終了後			
担当教員(オムニバス科目等)			
<p>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</p> <p>授業のねらい: 専門である工学を英文で学ぶことにより、学習意欲を高め、英語の総合的な能力を伸ばし、リーディングとリスニングの力を身に付ける。工業デザインの英文を読み、専門英語としての工業英語の基礎を、興味を持ちながら習得する。英語で書かれた長文を理解して読めるようになる。また、工学を学ぶ上で、デザインや建築物及び美学に対する興味と関心を深める。さらに、TOEIC テストについて目標を定める。</p> <p>授業方法: 予習を充分に行ってきた上で、英文を読み、理解度を確認し、読解の方法を指導する。語句や構文、文法事項に重点を置きながら、内容の正確な把握ができるようにする。テキストの練習問題により、説明と指導をしながら、語彙と文法事項の定着を図り、リスニングの能力を養う。工業デザイン、建築、芸術、文化、時代背景、デザイナー等についての示唆を与える。</p> <p>授業到達目標: 専門英語としての工業英語を覚え、工業デザインについて書かれた英文を読み、その意味を正確に理解して、またその内容を説明できる。デザインや建築物に対する興味や関心を高め、それらについて考察し、自分の考えを持つようになり、将来の研究に備える。語句や文法事項の基礎的な力を確認し、さらにリーディングとリスニングの応用力を伸ばすことができる。英語で書かれた長文を読めるようになる。</p>			
<p>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</p> <p>授業内容(概要) 十分な予習を前提とした上で、テキストの英文を精読や速読を行い、内容を確認していきながら、文章の内容を正確に理解するべく、語句や文法事項、及び英文読解の方法や技術を指導します。英文の内容の理解が出来ることを示すために、毎回発表をしてもらいます。その中で、専門的な知識を説明することとします。英文の読解力を高めることと、専門的な英語を習得することを目標とします。本文の内容理解をチェックするための練習問題を解き、その中で語彙や文法事項、またリスニングの指導と解説をします。デザインや文化等について、考察します。</p>			
<p>第1回 導入・授業内容の説明 TOEIC テストの説明 Chapter 2 Coca-Cola Bottle</p> <p>第2回 Chapter 1 Ford Model T</p> <p>第3回 Chapter 3 Juicy Salif Lemon Squeezer Chapter 10 Bird Kettle</p> <p>第4回 Chapter 4 Leica Camera</p> <p>第5回 Chapter 5 Harley-Davidson Motorbike</p> <p>第6回 Chapter 6 Le Corbusier Chairs</p> <p>第7回 Chapter 9 Chrysler Building</p> <p>第8回 Chapter 12 Chanel No.5</p> <p>第9回 Chapter 13 Swatch Watch</p> <p>第10回 Chapter 14 Guggenheim Museum Bilbao</p> <p>第11回 Chapter 15 PH Lamp</p> <p>第12回 Chapter 16 Casa Batllo</p> <p>第13回 Chapter 17 Swiss Army Knife</p> <p>第14回 Chapter 20 Apple iMac</p> <p>第15回 授業のまとめと定期試験</p>			
<p>テキストはそれ自体美しく、特色あるもので、その内容の多彩さには関心を惹かれることでしょう。世界に冠たる名品の数々は、名立たるデザイナーによる優れたデザインによって、世紀を越えて世界中で愛され続けています。それらの作品を鑑賞しながら、デザインの秀逸さや魅力を検証します。日頃から芸術や文化に触れ、デザインの美しさについて、感性を養い、自分の意見を持ちましょう。テクノロジーの益々の発達にともない、これからはさらにデザイン芸術が重要となるでしょう。優れたデザイナーの中には、建築家出身も多いことから、皆さんも、専門の研究と関連付けて考えてください。</p> <p>また、第1回目の授業で、TOEIC テストの紹介と説明を行います。各自で目標を定め、試験に挑戦しましょう。</p>			
キーワード	工業デザイン・名品のデザイン・建築物・美しさとは何か・TOEIC 対策		
教科書・教材・参考書	Design Makes the World Go 'Round (Jamie West : センゲージラーニング) 英和辞書を必携すること。		
成績評価の方法・基準等	定期試験を筆記で行います。 主に定期試験により評価をします。それに授業中の活動を加えます。 定期試験90%、授業中の発表や活動10%を基準とします。 また、受講中の態度を非常に重視します。		
受講要件(履修条件)	授業は全ての回に出席することを期待します。 必ず予習を行って参加しましょう。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	専門である工学を英語で学び、工業デザインや建築に対する興味を深め、将来の研究と結びつける。 TOEIC テストに対する意欲を高める。		